

ユネスコスクール (ASPnet)

## ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 学校概要

学校名 大牟田市立羽山台小学校  
種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
住所 〒837-0917  
福岡県大牟田市大字草木587の3  
E-mail : hayamadai-es@st.city.omuta.fukuoka.jp  
Website : \_\_\_\_\_  
児童生徒数：男子 218名 女子 183名 合計 401名  
児童・生徒の年齢 7歳～ 12歳

2. 担当者 ※公表しません

### 3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動

- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（福祉教育 ）

#### 4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

単元名：「心の触れ合い伝え合い」

領域：福祉教育 6年の実践

本実践では、①現代社会の課題の1つであり、地域の切実な課題でもある高齢化の問題に対して、子供たちが問題意識をもって主体的に学び、知識を得るとともに、自分なりの考えを持ち、できることを実践する態度を育てる。②この単元の学習を通して、高齢者に対する親しみの気持ちや思いやる心を育て、福祉の在り方、共生して生きていくことの大切さについて考えさせ、持続可能な未来のために、児童自らが福祉の問題について考え、行動できるきっかけにすることをねらいとして単元を設定した。まず単元のはじめの段階では、関係性を重視する活動を行った。具体的には、新聞記事を読ませたり、特別養護老人施設「さんぼ」の人による認知症教室で学ぶことにより、多様なものとの関わりから現代社会の課題であり、地域の切実な課題でもある高齢化の問題に対して、子供たちが問題意識をもって主体的に学ぶように問題意識を高めた。次に、単元の中の段階では、施設の高齢者との交流を実際に行う参加型の授業展開を行った。そして、推察・イメージ力・共感力を重視し、高齢者の心情などを推察・イメージする力を高めながら問題解決を図り高齢化社会についての自分の考えをもつようにした。最後に、発表会を行い、主体的行動を重視し、当事者意識をもち、高齢化の問題の解決に取り組み主体的に行動できる力を育てることができるようにした。そして、自分の考えが未来をつくることにつながっていることを認識する力、すなわち、未来指向性を高めるようにした。この実践を通して、子供たちは、高齢者を大切にすることや高齢者とともに住みよい社会を作ろうとする意識を高めることができた。

**活動時間について（下記から選択して下さい。）**

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
  - 時間外活動の時間を使用
  - ユネスコクラブの活動として実施
  - その他（ ）
- 交流の様子

